

2017年 自動車タイヤ国内需要年央見直し

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会

〔 〕 需要見直し前提

1. 経済環境

実質経済成長率は当初見通しの1.1%から1.5%へ上方修正した。

2. 自動車動向

自動車生産台数は当初見通しを上回る9,509千台・前年比103%と見込まれる。国内販売台数は当初見通しの前年比101%から104%へ上方修正し、輸出台数は当初見直し通りの前年比101%とした。

(表 - 1) 経済・自動車動向

		2016年	2017年見直し		前年比		
		実績	修正	当初	16/15	17(修)/16	17(当)/16
実質経済成長率(%)		1.0	1.5	1.1			
自動車	生産台数(千台)	9,205	9,509	9,239	99	103	(101)
	国内販売台数(千台)	4,970	5,176	4,977	99	104	(101)
	輸出台数(千台)	4,634	4,678	4,659	101	101	(101)

前年比17(当)/16の()は、2016年実績見込み比。 実質経済成長率は暦年(1-12月)、2017年1-3月まで実績。

自動車のうち、国内販売は2017年7月まで実績、生産・輸出は同6月まで実績。国内販売には輸入車を含む。

〔 〕 自動車タイヤ国内需要動向

1. 新車用タイヤ需要動向

(1) 乗用車用タイヤ

上期実績は前年比108%となった。下期は前年を下回ると見込むが、年間では当初見通しより1,024千本増・前年比で2ポイントプラスの37,164千本・前年比103%へ修正した。

(2) 小形トラック用タイヤ

上期実績は前年比99%となった。下期も前年を下回ると見込み、年間では当初見通しより209千本減・前年比で3ポイントマイナスの5,072千本・前年比96%へ修正した。

(3) トラック・バス用タイヤ

上期実績は前年比102%となった。下期は前年を下回ると見込み、年間では当初見通しより12千本増・前年比で1ポイントプラスの1,375千本・前年比100%へ修正した。

(表 - 2) 2017年新車用タイヤ需要見通し

(単位：千本・%)

	2016年		前年比(%)		2017年見通し				前年比(%)			
	実績 年間	当初との 差異	実績 年間	当初との 差異	修正			当初との 差異 (年間)	17(修)/16			当初との 差異 (年間)
					上期	下期	年間		上期	下期	年間	
乗用車用	36,129	228	100	1	18,924	18,240	37,164	1,024	108	98	103	2
小形トラック用	5,265	35	90	1	2,637	2,435	5,072	209	99	94	96	3
トラック・バス用	1,373	4	100	0	710	665	1,375	12	102	98	100	1
四輪車用計	42,767	198	99	1	22,270	21,341	43,611	828	107	97	102	2

差異の16年は実績見込みと実績値、17年は当初見通しと修正値。 会員輸入品を含む。

合計本数は本単位で計算し、千本単位表示した数値。

2. 市販用タイヤ 販社販売需要動向

(1) 乗用車用タイヤ

夏用タイヤの上期実績は前年比106%となった。下期は前年を下回ると見込み、年間では当初見通しより3千本減・前年比でほぼ当初見通し通りの34,901千本・前年比101%へ修正した。

冬用タイヤの上期実績は前年比190%となった。下期は前年を下回ると見込み、年間では当初見通しより263千本減・前年比でほぼ当初見通し通りの16,543千本・前年比100%へ修正した。

(2) 小形トラック用タイヤ

上期実績は夏冬合計で前年比103%となった。下期は前年を下回ると見込み、年間の夏冬合計で当初見通しより89千本減・前年比でほぼ当初見通し通りの13,705千本・前年比99%へ修正した。

(3) トラック・バス用タイヤ

上期実績は夏冬合計で前年比116%となった。下期は前年を下回ると見込み、年間の夏冬合計ではほぼ当初見通し通りの5,339千本・前年比101%へ修正した。

(表 - 3) 2017年市販用タイヤ夏・冬用需要見通し(販社販売)

(単位：千本・%)

		2016年		前年比(%)		2017年見通し				前年比(%)			
		実績 年間	当初との 差異	実績 年間	当初との 差異	修正			当初との 差異 (年間)	17(修)/16			当初との 差異 (年間)
						上期	下期	年間		上期	下期	年間	
乗用車用	夏	34,702	21	99	0	22,197	12,704	34,901	3	106	93	101	0
	冬	16,500	289	99	2	1,146	15,397	16,543	263	190	97	100	0
	計	51,202	310	99	1	23,344	28,100	51,444	267	108	95	101	0
小形 トラック用	夏	9,477	33	100	0	5,412	3,973	9,385	1	103	95	99	0
	冬	4,314	87	104	2	588	3,732	4,320	90	107	99	100	0
	計	13,791	54	101	0	6,000	7,705	13,705	89	103	97	99	0
トラック・ バス用	夏	2,947	3	101	0	1,820	1,172	2,992	24	114	87	102	1
	冬	2,343	25	104	1	317	2,029	2,346	24	133	96	100	0
	計	5,291	28	102	1	2,138	3,201	5,339	0	116	93	101	1
四輪車用計	夏	47,126	9	99	0	29,430	17,848	47,278	22	105	93	100	0
	冬	23,157	401	100	2	2,052	21,158	23,210	377	147	97	100	0
	計	70,283	392	100	1	31,482	39,006	70,488	355	107	95	100	0

差異の16年は実績見込みと実績値、17年は当初見通しと修正値。 会員輸入品を含む。

合計本数は本単位で計算し、千本単位表示した数値。

3. 市販用タイヤ メーカー出荷需要動向

前記販社販売を踏まえ、メーカー出荷需要を算出すると、四輪車用計の夏冬合計では当初見通しより301千本減・前年比で1ポイントプラスの70,488千本・前年比101%となった。

(表 - 4) 2017年市販用タイヤ夏・冬用需要見通し(メーカー出荷)

(単位：千本・%)

		2016年		前年比(%)		2017年見通し				前年比(%)			
		実績 年間	当初との 差異	実績 年間	当初との 差異	修正			当初との 差異 (年間)	17(修)/16			当初との 差異 (年間)
						上期	下期	年間		上期	下期	年間	
乗用車用	夏	34,907	185	100	1	22,320	12,581	34,901	3	105	92	100	1
	冬	16,115	673	96	4	1,294	15,249	16,543	209	105	103	103	3
	計	51,023	488	99	1	23,614	27,830	51,444	213	105	98	101	1
小形 トラック用	夏	9,434	17	100	0	5,459	3,926	9,385	1	103	95	100	0
	冬	4,194	207	100	5	440	3,881	4,320	90	103	103	103	3
	計	13,628	190	100	1	5,898	7,807	13,705	89	103	99	101	1
トラック・ バス用	夏	2,943	1	102	0	1,794	1,198	2,992	24	113	89	102	1
	冬	2,290	79	102	4	218	2,128	2,346	24	139	100	103	2
	計	5,233	80	102	2	2,012	3,326	5,339	0	115	96	102	2
四輪車用計	夏	47,284	201	100	0	29,573	17,705	47,278	22	105	93	100	0
	冬	22,599	959	97	4	1,952	21,258	23,210	323	107	102	103	3
	計	69,884	758	99	1	31,525	38,963	70,488	301	105	98	101	1

差異の16年は実績見込みと実績値、17年は当初見通しと修正値。 会員輸入品を含む。

合計本数は本単位で計算し、千本単位表示した数値。

4. メーカー出荷需要動向（四輪以外を含む）

四輪以外の特殊車両用と二輪車用を含む国内総需要本数は、当初見通しより626千本増・前年比で1ポイントプラスの118,825千本・前年比101%となった。

(表 - 5) 2017年自動車タイヤ国内需要見通し

(単位：千本・%)

	2016年		前年比(%)		2017年見通し				前年比(%)				
	実績 年間	当初との 差異	実績 年間	当初との 差異	修正			当初との 差異 (年間)	17(修)/16			当初との 差異 (年間)	
					上期	下期	年間		上期	下期	年間		
新車用	乗用車用	36,129	228	100	1	18,924	18,240	37,164	1,024	108	98	103	2
	小形トラック用	5,265	35	90	1	2,637	2,435	5,072	209	99	94	96	3
	トラック・バス用	1,373	4	100	0	710	665	1,375	12	102	98	100	1
	四輪車用計	42,767	198	99	1	22,270	21,341	43,611	828	107	97	102	2
市販用	乗用車用	51,023	488	99	1	23,614	27,830	51,444	213	105	98	101	1
	小形トラック用	13,628	190	100	1	5,898	7,807	13,705	89	103	99	101	1
	トラック・バス用	5,233	80	102	2	2,012	3,326	5,339	0	115	96	102	2
	四輪車用計	69,884	758	99	1	31,525	38,963	70,488	301	105	98	101	1
小計	乗用車用	87,152	260	99	0	42,538	46,070	88,608	811	106	98	102	1
	小形トラック用	18,893	224	97	1	8,535	10,242	18,777	298	102	98	99	0
	トラック・バス用	6,606	75	101	1	2,722	3,991	6,714	13	111	96	102	1
	四輪車用計	112,651	560	99	1	53,795	60,304	114,099	526	106	98	101	1
特殊車両用	1,566	6	93	0	820	749	1,569	14	107	94	100	1	
二輪車用	3,119	17	98	1	1,721	1,436	3,157	86	111	91	101	2	
合計	117,336	536	99	1	56,337	62,488	118,825	626	106	97	101	1	

差異の16年は実績見込みと実績値、17年は当初見通しと修正値。 会員輸入品を含む。

合計本数は本単位で計算し、千本単位表示した数値。

特殊車両用は建設車両用・産業車両用・農業機械用・運搬車両用の合計。 二輪車用は国内メーカーの会員外を含む。

以上